

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-4 治安対策の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	生活環境課長 杉原 知行	電話番号	0852-26-0110(代)
----------	--------------	------	-----------------

事務事業の名称	サイバー犯罪対策事業		
目的	(1) 対象	高度情報通信ネットワーク利用者	
	(2) 意図	安全に安心して高度情報通信ネットワークを利用できるようにする。	
事業概要	インターネット上に氾濫する違法・有害情報やサイバー空間を悪用した犯罪から県民を守るため、取締りを推進するとともに、関連事業者・防犯ボランティアと連携し、官民一体となったサイバー犯罪被害防止活動を推進します。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	情報セキュリティに関する講習会等	目標値	100.00	100.00	
式・定義	情報セキュリティに関する講習会等件数（暦年）	実績値	119.00	139.00	237.00	221.00		件
		達成率		139.00	237.00	221.00		%
指標名	サイバーパトロールによる違法・有害情報の発見等	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		12.00	12.00	12.00	12.00	件
式・定義	サイバーパトロールによる違法・有害情報の通報件数（暦年）	実績値	2.00	14.00	17.00	16.00		件
		達成率		116.70	141.70	133.40		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	
うち一般財源(千円)	0	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

情報セキュリティに関する講習会等件数は、過去3年間の平均（165件）を大きく上回る件数が実施されている。
 また、平成27年6月末現在においても110件が既に実施され、今後も活動の活発化が見込まれる。
 サイバーパトロールによる違法・有害情報の通報件数については、過去3年間の平均（11件）を上回る結果となった。
 また、平成27年6月末においては14件が計上され、目標値を既に達成した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

情報セキュリティに関する講習会は、県下に周知されつつあり、定期的な講習会開催依頼が見込まれ、県民のセキュリティ意識の向上に寄与している。
 また、サイバーパトロールによる違法・有害情報の通報件数も目標値を高い数値で上回る件数で推移しており、サイバー犯罪の被害防止及びサイバー空間の浄化に一定の効果があつたものと判断される。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
平成26年度総務省情報通信白書によれば、島根県民におけるインターネット利用率が73.6%に達するなど、インターネットが県民生活に広く浸透する一方で、サイバー犯罪から身を守る方法に必ずしも詳しくない者がインターネットを利用しており、依然として被害が発生している状況がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
若年層をはじめとした全年齢層において、情報セキュリティ教育が浸透していない。
また、日々新たな犯罪の手口が発生している。
- ③原因を解消するための「課題」
世代・対象毎に必要なとされる情報セキュリティ教育のあり方の検討、及び日々発生する新たな手口に対する分析・研究が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

高度情報通信ネットワーク利用者に対し、画一的な情報セキュリティ教育を推進するのではなく、対象者毎に必要なテーマを選定したうえで、日々進化するサイバー犯罪から身を守る方法、及びサイバー空間での規範意識を醸成するための広報啓発活動を展開する。
 「安全・安心なサイバー空間を構築するための島根県官民連携協議会」や「島根県警察サイバー防犯ボランティア」の効果的な運営により、官民一体となった施策を展開するとともに、民間の知見を活用した事業に取り組んでいく。
 また、若年層の情報モラル・情報リテラシー教育が急務であることから、啓発活動に取り組んでいく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）